

# 令和5年度対話の広場(川崎会場) 「健康長寿に寄与しともに生きる科学技術」 いただいたご意見等への対応状況等

**【対応区分】**

- A: “対話の広場”をきっかけに、新規の計画・事業を検討する(対応する方向である)
- B: “対話の広場”をきっかけに、既存の計画・事業の見直し等を行う(対応する方向である)
- C: “対話の広場”開催時点にて、既の実施している(既に対応している)
- D: 特に対応を予定していない。

| 参加者No. | 関係所属名             | 参加者からの主な意見等   | 対応区分 | 対応状況(R6.2.29時点)   |
|--------|-------------------|---|------|---|
| 1-2    | 健康医療局<br>健康増進課    | 今ここにいる高校生達が、2040年に30歳を超える年齢になる、その時に、ここにいる高校生達がヘルスリテラシーを習得して、自らいろんな情報を準備して判断して、健康予防に繋げていくという社会が出来ていたらいいなと思うのです。県としての取り組みみたいなものが、もしあるのであれば、教えていただきたい。           | C    | 御意見のとおり、高校生が様々な健康情報を正しく取得・理解し、活用できる力であるヘルスリテラシーを身につけ、人生100歳時代の社会をリードしていくことは、重要なことと認識しています。<br>そこで、県では、未病改善について、知識を習得するだけでなく、知識の使い方を実践的に学び、考え、議論することを通じて、ヘルスリテラシーを習得することを目的とした、高校生用の健康・未病学習教材を作成し、県内の高校に提供しています。   |
| 7      | 環境農政局<br>農地課      | 市民農園とかにソーラーシェアリングみたいにしてソーラーをして、そうしたら食を作って、そして農作業で運動して、そして、社会参加、ソーラーシェアリングを使っているってこと自体が脱炭素に貢献しているし、コミュニティでみんなが集まってきて、もしかして若い人とかも作業とかして、社会参加になるかなと思いました。        | C    | 市民農園において、ソーラーシェアリングを実施できる可能性はありますが、農園として利用を継続するなど、様々な条件があります。<br>なお、設置を希望される場合には、関係する市町村もしくは県にお問い合わせください。   |
| 8      | 政策局<br>いのち未来戦略本部室 | 私の住んでいる町内会で、町内会のお祭りがあったんですけども、今年からお祭りが中止ということになりました。その理由が、高齢化して担い手がいけないという、結構、最近耳にするような課題が自分の地域でも来ているなというところがありますので、そこを行政と医療とでどういうふうに取り組んでいけるのかなってということが一つです。 | B    | 未病の改善に必要な要素である食・運動・社会参加のうち、社会参加の鍵を握るのは、町内会などの地域コミュニティです。<br>町内会の担い手不足といった問題は、多くの地域コミュニティが抱える共通の課題であり、お祭りのみならず、町内会自体の運営にも影響を及ぼすものです。<br>こうした中、当室では、県及び県内市町村が連携して、地域コミュニティが抱える課題や取組事例などを共有するとともに、課題解決に向けた議論を行うため「かながわコミュニティ再生・活性化推進会議」を設置しています。<br>この会議の中で、「担い手不足」等をテーマに、例えば、地域の民間事業者の従業員が、清掃活動や祭りなどの担い手として自治会活動に参加する事例や、中学生が自治会役員を務める事例を共有するなど、地域のコミュニティ活動を最前線で支える市町村の取組を後押ししています。 |